

大佛次郎研究会

主催者都合により延期(日程未定)

第34回公開発表会

2020年
11月27日(金)

テーマ

「大佛次郎と歌舞伎」



六代目中村芝翫の楽屋で(1971年<昭和46>頃)

朗読1 大佛次郎エッセー「ちいさい隅」から「横浜の芝居」

原田 静 (はらだ せい 大佛次郎研究会会員)



講演1 「大佛次郎歌舞伎と、その中の横浜作品」

小柴 俊雄 (こしば としお 横浜演劇史研究家)

大佛次郎は小説家でありながら、初めての戯曲「楊貴妃」、そして九世市川海老蔵（のちの十一世團十郎）と尾上菊五郎劇団のために、「若き日の信長」を書き下ろし、歌舞伎に新しい息吹をもたらした。「若き日の信長」のあと、大佛は幕末明治の横浜を舞台にした戯曲「幻燈」「霧笛」「三姉妹」を書き、新派、歌舞伎の俳優たちによって演じられている。これら大佛次郎作品を紹介する。

朗読2 大佛次郎エッセー「ちいさい隅」から「宴の後」

原田 静 (はらだ せい 大佛次郎研究会会員)

講演2 「大佛次郎と歌舞伎～国立劇場の思い出～」

織田 紘二 (おりた こうじ 日本舞踊協会副会長)

大佛先生は国立劇場の非常勤理事を長く務められた。それまで、菊五郎劇団や十一代目市川團十郎のために「若き日の信長」や「霧笛」などを書き下ろしておられたが、国立劇場では「三姉妹」や「戦国の人々」を上演した。その折の経験や思い出を話したいと思う。



日時:2020年11月27日(金) 午後2時～4時40分

(開場 午後1時30分)

会場:神奈川近代文学館ホール

横浜市中区山手町110(港の見える丘公園内)

1.みなとみらい線「元町・中華街」駅下車10分(5番から谷戸坂、または6番出口からはアメリカ山公園経由:エレベータあり)

2.バス路線 神奈川中央交通⑩桜木町駅～保土ヶ谷駅東口または横浜市営バス⑩山手駅～桜木町駅いずれも「港の見える丘公園」下車徒歩3分

入場:先着200名様(資料代500円)

当日、会場へ直接お越し下さい

(プログラム内容に変更のある場合があります。予めご了承ください。)

主催:大佛次郎研究会

共催:大佛次郎記念館

(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

<http://osaragi.yaf.jp.org>

後援:神奈川近代文学館

(公益財団法人 神奈川文学振興会)

問合せ:大佛次郎記念館

TEL045-622-5002

FAX045-622-5071